

福井県長期ビジョンの実現に向けた県民アンケートの調査結果

- ・調査期間 令和4年10月28日～11月18日
- ・調査対象 県内に居住する満18歳以上の3,000人(住民基本台帳から年代別に無作為抽出)
- ・回答者数 1,571人(回収率 52.37%)

○居住地

	送付数	回答数	回収率	割合
福井市	1,021	544	53.3%	34.6%
敦賀市	248	111	44.8%	7.1%
小浜市	111	58	52.3%	3.7%
大野市	125	65	52.0%	4.1%
勝山市	88	44	50.0%	2.8%
鯖江市	266	131	49.2%	8.3%
あわら市	110	66	60.0%	4.2%
越前市	318	164	51.6%	10.4%
坂井市	345	186	53.9%	11.8%
永平寺町	75	41	54.7%	2.6%
池田町	10	7	70.0%	0.4%
南越前町	40	29	72.5%	1.8%
越前町	80	39	48.8%	2.5%
美浜町	37	18	48.6%	1.1%
高浜町	40	18	45.0%	1.1%
おおい町	31	16	51.6%	1.0%
若狭町	55	30	54.5%	1.9%
未記入・無効等	-	4	-	0.3%
計	3,000	1,571	52.37%	100.0%

○年齢

	送付数	回答数	回収率	割合
10代	68	22	32.4%	1.4%
20代	298	78	26.2%	5.0%
30代	364	152	41.8%	9.7%
40代	480	233	48.5%	14.8%
50代	460	251	54.6%	16.0%
60代	467	325	69.6%	20.7%
70代～	863	496	57.5%	31.6%
未記入・無効等	-	14	-	0.9%
計	3,000	1,571	52.37%	100.0%

○性別

	回答数	割合
男	692	44.0%
女	873	55.6%
答えたくない	1	0.1%
未記入・無効等	5	0.3%
計	1,571	100.0%

○職業

	回答数	割合
正規の職員・従業員	462	29.4%
労働者派遣事業所の派遣社員	14	0.9%
パート・アルバイト・その他(契約社員・嘱託など含む)	314	20.0%
会社などの役員	78	5.0%
自営業主(雇人あり)	35	2.2%
自営業主(雇人なし)	89	5.7%
家族従業者	51	3.2%
学生	29	1.8%
無職	417	26.5%
その他	38	2.4%
未記入・無効等	44	2.8%
計	1,571	100.0%

○世帯構成

	回答数	割合
ひとり暮らし(単身赴任を含む)	40	2.5%
夫婦のみ	296	18.8%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と子ども)	626	39.8%
2世代同居世帯(本人(夫婦を含む)と親など)	203	12.9%
3世代同居世帯(本人と子どもと孫)	145	9.2%
3世代同居世帯(親と本人と子ども)	153	9.7%
3世代同居世帯(本人と親と祖父母など)	49	3.1%
その他	45	2.9%
未記入・無効等	14	0.9%
計	1,571	100.0%

○配偶者の有無

	回答数	割合
未婚	161	10.2%
配偶者あり	1,293	82.3%
死別	69	4.4%
離別	31	2.0%
未記入・無効等	17	1.1%
計	1,571	100.0%

○共働き(配偶者がいる方のみ)

	回答数	割合
共働きである	742	57.4%
共働きではない	518	40.1%
未記入・無効等	33	2.6%
計	1,293	100.0%

○18歳未満の子どもはいるか？

	回答数	割合
いる	409	26.0%
いない	1,112	70.8%
未記入・無効等	50	3.2%
計	1,571	100.0%

○子どもの状況

	回答数	割合
小学校入学前(乳幼児含む)	127	20.8%
小学生	194	31.8%
中学生	122	20.0%
高校生	108	17.7%
その他	52	8.5%
未記入・無効等	8	1.3%
計	611	100.0%

○祖父母の家の範囲(小学生以下子どもがいる方のみ)

	回答数	割合
同居	57	21.3%
同じ敷地内の別家屋	26	9.7%
車で15分未満の範囲	90	33.6%
車で15～30分以内の範囲	40	14.9%
車で30分を超える範囲	30	11.2%
その他	5	1.9%
未記入・無効等	20	7.5%
計	268	100.0%

○世帯年間収入(税・社会保険料込)

	回答数	割合
100万円未満	27	1.7%
100万円以上300万円未満	216	13.7%
300万円以上500万円未満	340	21.6%
500万円以上700万円未満	277	17.6%
700万円以上1,000万円未満	293	18.7%
1,000万円以上2,000万円未満	162	10.3%
2,000万円以上3,000万円未満	14	0.9%
3,000万円以上	9	0.6%
わからない	132	8.4%
答えたくない	71	4.5%
未記入・無効等	30	1.9%
計	1,571	100.0%

○最終学歴

	回答数	割合
小・中学	113	7.2%
高校(旧制中学校を含む)	700	44.6%
専門学校	144	9.2%
短大・高専	189	12.0%
大学	362	23.0%
大学院	32	2.0%
その他	8	0.5%
未記入・無効等	23	1.5%
計	1,571	100.0%

○心身の健康状態

	回答数	割合
よい	332	21.1%
まあよい	483	30.7%
ふつう	516	32.8%
あまりよくない	186	11.8%
よくない	40	2.5%
未記入・無効等	14	0.9%
計	1,571	100.0%

項目別の調査結果

問1 令和6年春に北陸新幹線の福井・敦賀開業が予定されています。あなたは福井県内に新幹線が開業することについて、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

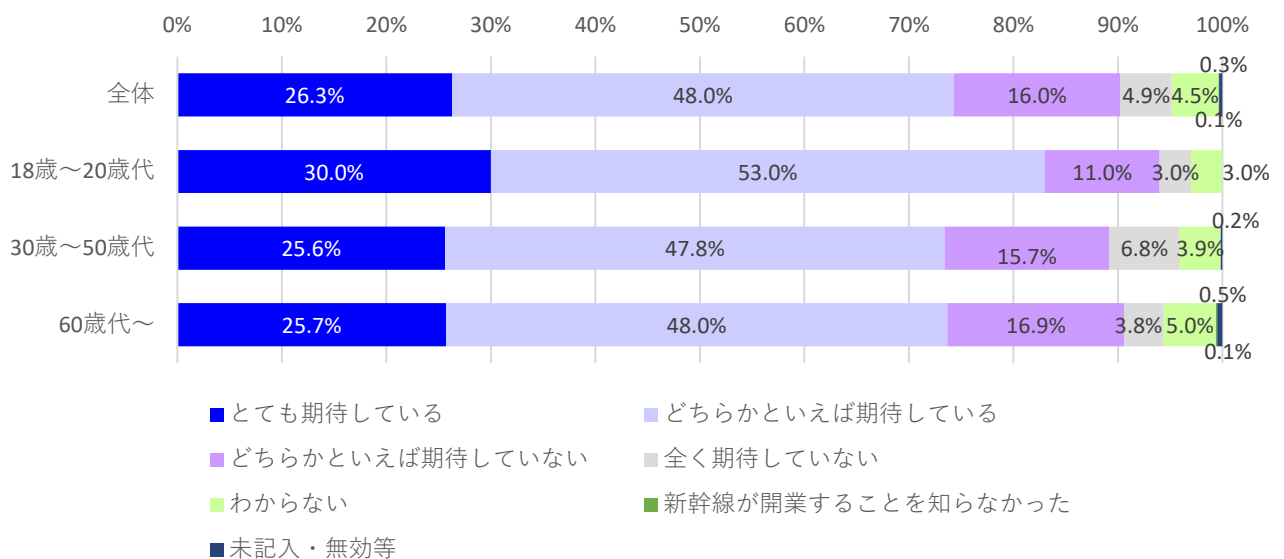
1. とても期待している (413)
2. どちらかといえば期待している (754)
3. どちらかといえば期待していない (251)
4. 全く期待していない (77)
5. わからない (70)
6. 新幹線が開業することを知らなかった (1)

※上記カッコ内は、各項目の回答者数（問2以降も同様）

※下記グラフの割合は、「各項目の回答者数／回答者総数」（問2以降も同様）

※未記入・無効等の関係で、回答者数の合計と回答者総数が一致しない場合がある。

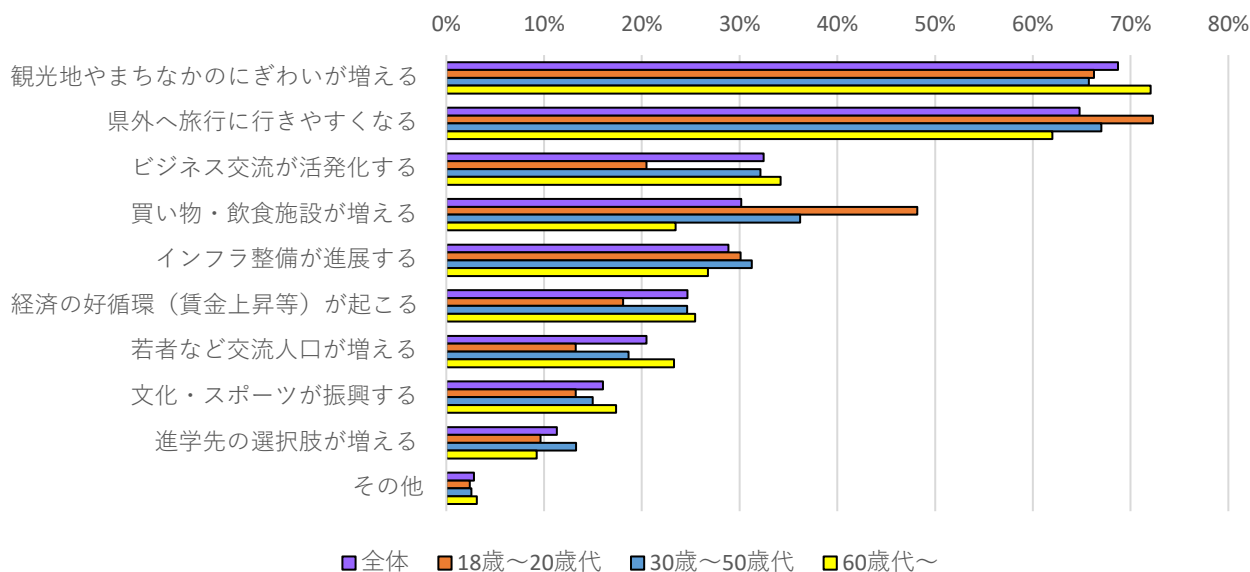
- ・全体として、「とても期待している」「どちらかといえば期待している」の割合合計は、74.3%となった。
- ・18歳～20歳代では、「とても期待している」と回答した割合が30.0%、「どちらかといえば期待している」と回答した割合が53.0%と、ともに他の年代に比べて高かった。



問2 問1で1～2と答えた方のみお答えください。あなたが新幹線開業に期待するのはどのような部分でしょうか。この中からいくつでも選んで○をつけてください。

1. 観光地やまちなかのにぎわいが増える (802)
2. 県外へ旅行に行きやすくなる (756)
3. ビジネス交流が活発化する (379)
4. 進学先の選択肢が増える (132)
5. 若者など交流人口が増える (239)
6. インフラ整備が進展する (337)
7. 買い物・飲食施設が増える (352)
8. 文化・スポーツが振興する (187)
9. 経済の好循環（賃金上昇等）が起こる (288)
10. その他 (33)

- ・全体として、「観光地やまちなかのにぎわいが増える」が68.7%で最も高く、次いで「県外へ旅行に行きやすくなる」が64.8%となった。
- ・18歳～20歳代では、「県外に行きやすくなる」と回答した割合が72.3%と最も高く、60歳以上では「観光地やまちなかのにぎわいが増える」と回答した割合が、72.1%で高くなった。

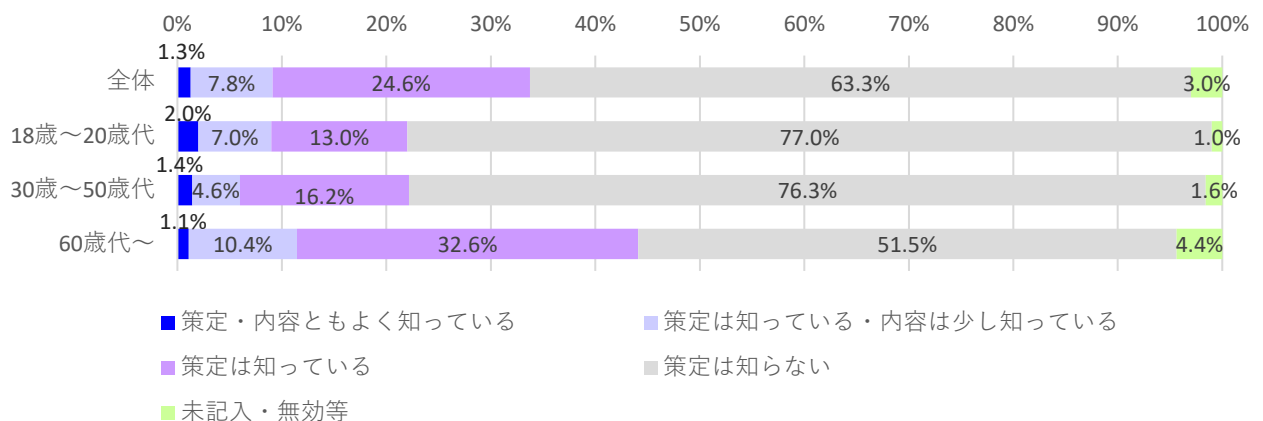


問3 北陸新幹線県内開業等により、福井県は今100年に1度の大きなチャンスを迎えています。県では、県民の皆さまと福井県が目指す将来像を共有するため、5,000人を超える県民の皆さまのご協力のもと、令和2年7月に「福井県長期ビジョン」を策定しました。

あなたは「福井県長期ビジョン」について知っていましたか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 策定されたことを知っており、ビジョンの内容についてもよく知っている (20)
2. 策定されたことを知っており、ビジョンの内容についても少しは知っている (123)
3. 策定されたことは知っている (387)
4. 策定されたことを知らない (994)

- ・全体として、長期ビジョンの策定を知っている（選択肢1～3の合計）割合は、33.7%であった。
- ・年代別にみると、長期ビジョンの策定を知っている割合は、18歳～20歳代で22.0%、30歳～50歳代で22.2%、60歳以上で44.1%となり、年代が上がるにつれて高くなっている。



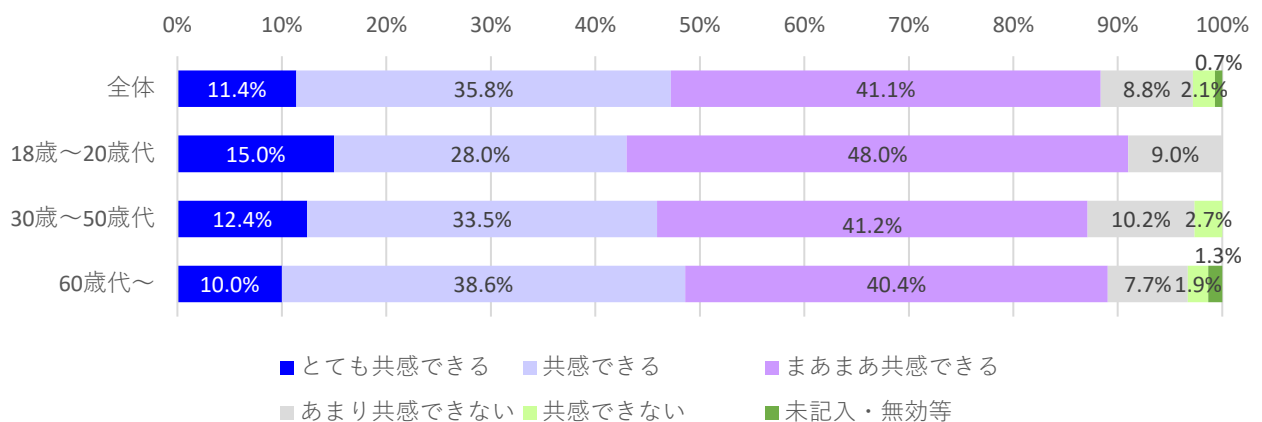
問4 「福井県長期ビジョン」では、基本理念として『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！」を掲げています。

これは、長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを守り、次世代に引き継ぐとともに、その安定した社会基盤をもとに誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」ふくいを目指す、というものです。

あなたは、この『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても共感できる (179)
2. 共感できる (563)
3. まあまあ共感できる (646)
4. あまり共感できない (139)
5. 共感できない (33)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が、11.4%、「共感できる」が35.8%、「まあまあ共感できる」が41.1%と、回答者の88.3%から共感を得ている。
- ・年代別に見ると、18歳～20歳代の共感を得ている割合が91.0%と最も高くなっている。



問5 「福井県長期ビジョン」では、「自信と誇りのふくい」「誰もが主役のふくい」「飛躍するふくい」を、2040年の福井県が目指す姿として示しています。

「自信と誇りのふくい」は、先人たちが培ってきた「ふくいらしさ」を守り、価値を高めるとともに、県民が誇りを持って暮らすことにより、さらに多くの人を呼び込んでいく、というものです。

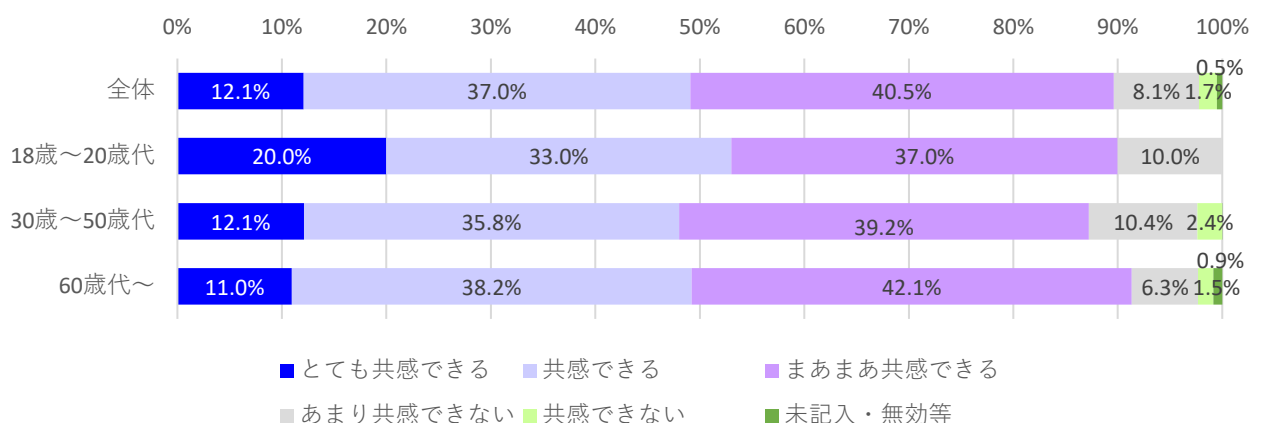
「誰もが主役のふくい」は、多様性を認め合い、誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を築くことにより、すべての人が輝き、支え合い、幸せを実感しながら、将来にわたり安心して暮らせる福井を実現する、というものです。

「飛躍するふくい」は、交通体系の進展や技術革新を最大限に活かして、新時代の産業基盤を確立するとともに、くらしの質を高め、創造的かつ活力に満ちた地域をつくる、というものです。

あなたは、これら3つの目指す姿について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても共感できる (190)
2. 共感できる (581)
3. まあまあ共感できる (637)
4. あまり共感できない (128)
5. 共感できない (27)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が、12.1%、「共感できる」が37.0%、「まあまあ共感できる」が40.5%と、回答者の89.6%から共感を得ている。
- ・年代別に見ると、「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が20.0%と最も高いが、共感を得ている割合は60歳以上が91.3%と最も高くなっている。



問6 「福井県長期ビジョン」では、計画の基本目標として「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」を掲げています。

これは、「幸福度日本一」と評価される福井県の総合力の高さを活かし、住む人のしあわせを第一に、定住人口の確保を図るとともに、交流人口・関係人口を大きく拡大することにより、活力と楽しみにあふれる「活力人口100万人ふくい」を実現する、というものです。

あなたは、この「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

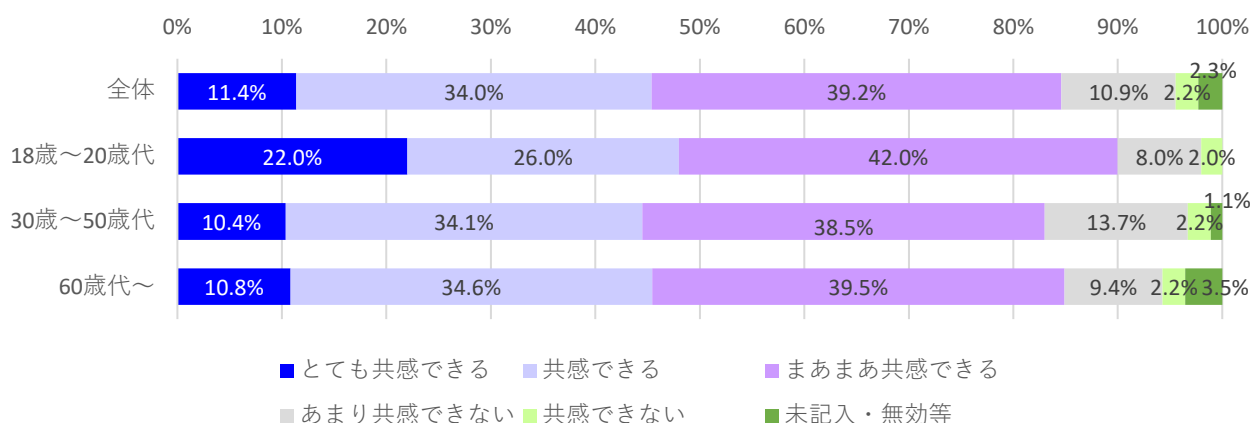
※1 定住人口：福井県に住んでいる人口

※2 交流人口：一時的に福井県に滞在する人口（観光客やビジネスなど）

※3 関係人口：福井県と継続的に関わる人口（福井県を二地域居住の拠点としている、福井県に帰省している、毎年県外から福井のお祭りに参加している、など）

1. とても共感できる (179)
2. 共感できる (534)
3. まあまあ共感できる (616)
4. あまり共感できない (172)
5. 共感できない (34)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が、11.4%、「共感できる」が34.0%、「まあまあ共感できる」が39.2%と、回答者の84.6%から共感を得ている。
- ・年代別に見ると、「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が22.0%と最も高く、共感を得ている割合も18歳～20歳代が90.0%と最も高くなっている。



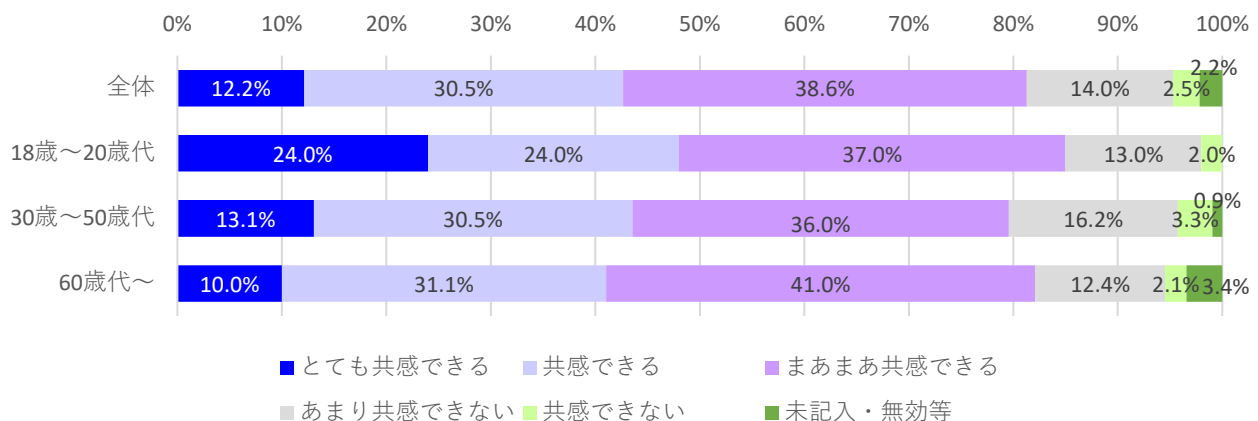
問7 「福井県長期ビジョン」では、今後5年間、3つの目指す姿のうち「飛躍するふくい」に重点を置き、その実現に向けて、「とんがろう、ふくい」をコンセプトに「新時代スタートアッププロジェクト」を進めていきます。

この「とんがろう、ふくい」には、一人ひとりが個性を発揮し、変化や失敗を恐れず、お互いのチャレンジを応援し合う福井を目指そう、という想いが込められています。

あなたは、この「とんがろう、ふくい」について、どのように感じますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても共感できる (191)
2. 共感できる (479)
3. まあまあ共感できる (607)
4. あまり共感できない (220)
5. 共感できない (40)

- ・全体として、「とても共感できる」の割合が、12.2%、「共感できる」が30.5%、「まあまあ共感できる」が38.6%と、回答者の81.3%から共感を得ている。
- ・年代別に見ると、「とても共感できる」の割合は、18歳～20歳代が24.0%と最も高く、共感を得ている割合も18歳～20歳代が85.0%と最も高くなっている。

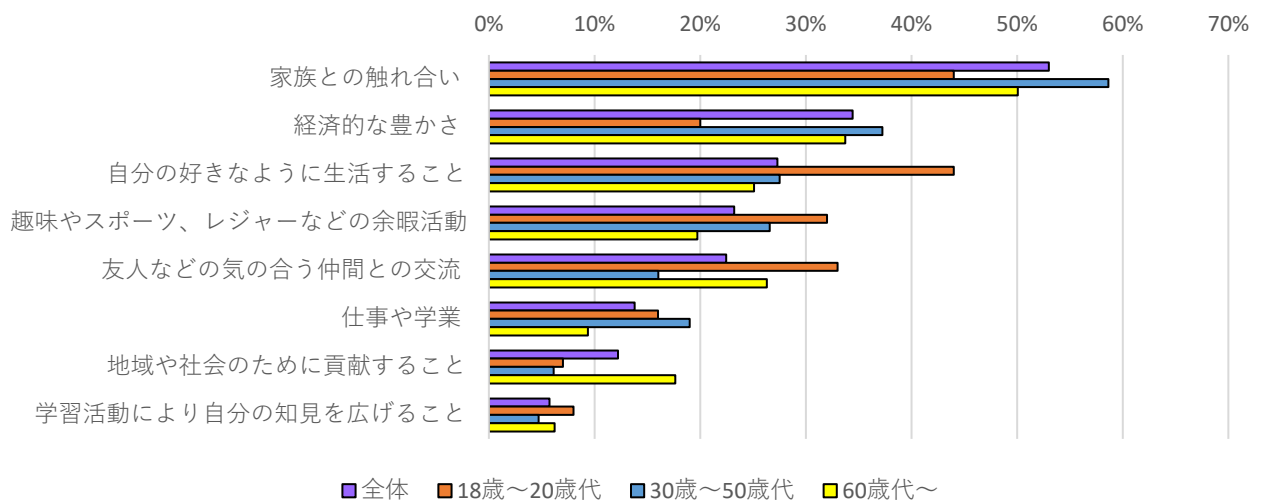


問8 福井県の暮らしについてお聞きします。

あなたが、日々の生活の中で大切にしたいと思っていることはどのようなことですか。
最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

1. 自分の好きなように生活すること (429)
2. 趣味やスポーツ、レジャーなどの余暇活動 (365)
3. 家族との触れ合い (833)
4. 友人などの気の合う仲間との交流 (353)
5. 経済的な豊かさ (541)
6. 仕事や学業 (217)
7. 学習活動により自分の知見を広げること (90)
8. 地域や社会のために貢献すること (192)

- ・全体として、「家族との触れ合い」が53.0%で最も高く、次いで「経済的な豊かさ」が34.4%で高かった。
- ・年代別にみると、それぞれ最も回答割合が高かった項目として、18歳～20歳代は「家族との触れ合い」と「自分の好きなように生活すること」が44.0%、30歳～50歳代は「家族との触れ合い」が58.6%、60歳以上も同じく「家族との触れ合い」が50.1%となった。

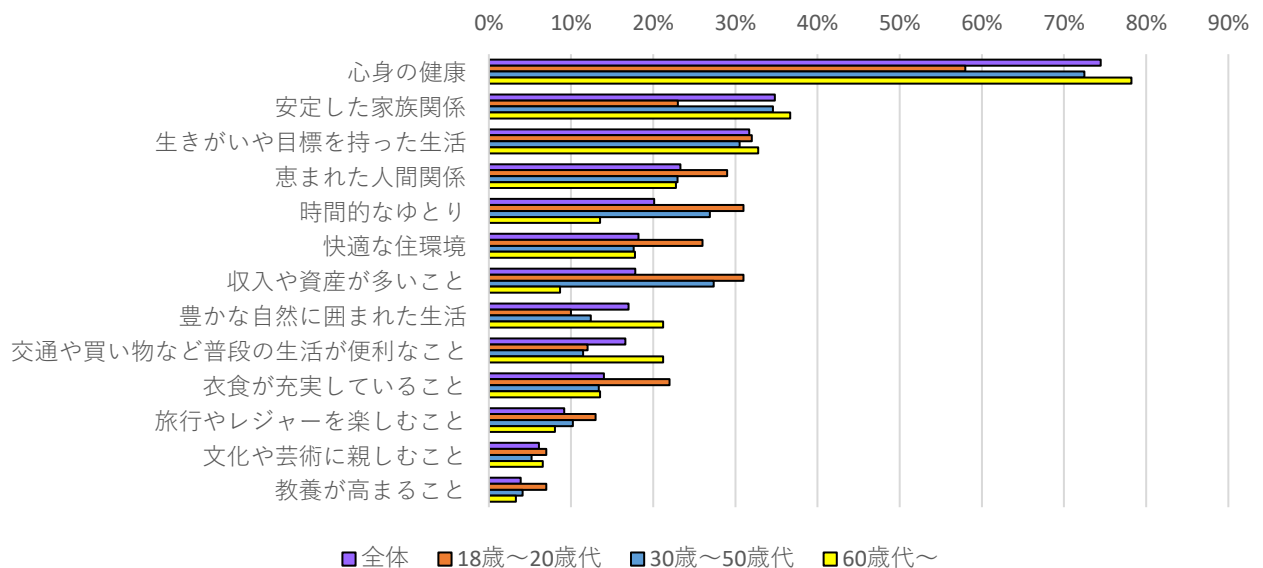


問9 あなたにとって「豊かさ」とはどのようなことですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 心身の健康 (1,170) | 2. 豊かな自然に囲まれた生活 (267) |
| 3. 生きがいや目標を持った生活 (498) | 4. 安定した家族関係 (547) |
| 5. 恵まれた人間関係 (366) | 6. 時間的なゆとり (316) |
| 7. 衣食が充実していること (220) | 8. 快適な住環境 (286) |
| 9. 収入や資産が多いこと (280) | 10. 旅行やレジャーを楽しむこと (144) |
| 11. 教養が高まること (61) | 12. 文化や芸術に親しむこと (96) |
| 13. 交通や買い物など普段の生活が便利なこと (261) | |

・全体として、「心身の健康」が74.5%で最も高く、次いで「安定した家族関係」が34.8%で高かった。

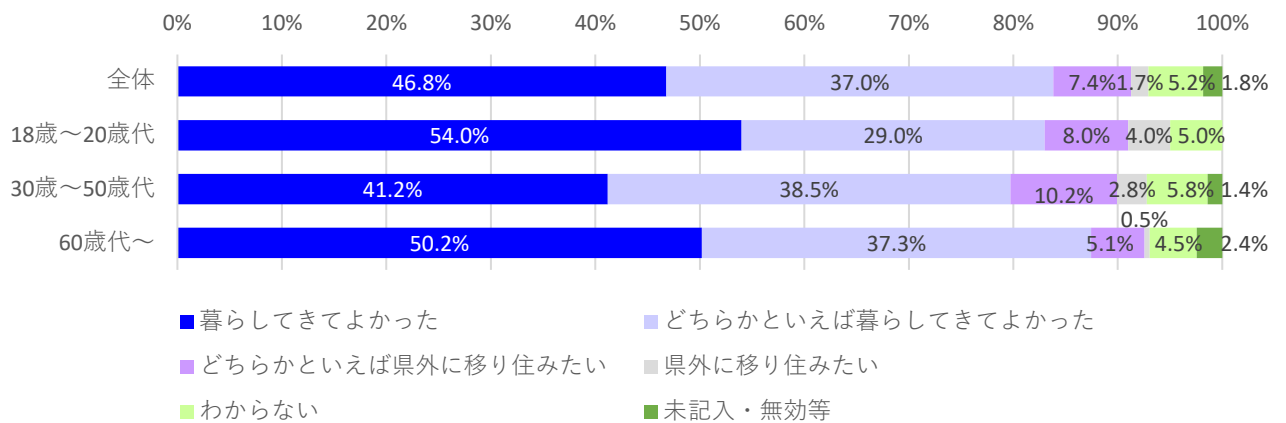
・年代別でみると、いずれの世代も最も高いのは「心身の健康」だったが、次いで高い項目は、18歳～20歳代では「生きがいや目標を持った生活」、30歳～50歳代および60歳以上では「安定した家族関係」となった。



問 10 あなたは自分が福井県に暮らしてきて良かったと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 暮らしてきてよかった (735)
2. どちらかといえば暮らしてきてよかった (582)
3. どちらかといえば県外に移り住みたい (117)
4. 県外に移り住みたい (26)
5. わからない (82)

- ・全体では、「暮らしてきてよかった」が46.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしてきてよかった」が37.0%。これは2つの合計割合は83.8%となった。
- ・年代別みると、18歳～20歳代の「暮らしてきてよかった」が54.0%と高く、「暮らしてきてよかった」、「どちらかといえば暮らしてきてよかった」の合計割合では、60歳以上が87.5%と最も高かった。



問 11 本県の暮らしの「現在の充足度」と「将来の重要度」についてお聞きします。あなたは次の 25 の項目について現在どの程度充足されていると考えますか。また、将来の福井県において、どの程度重要であると考えますか。最も当てはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

※得点の算出方法

「充足されている」＝4点から「充足されていない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化。

<現在の充足度>

区分	項目	充足されている	どちらかといえば充足されている	どちらともいえない	どちらかといえば充足されていない	充足されていない	無回答	得点
健康	1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	432	669	232	144	59	35	2.8
	2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	211	503	485	222	98	52	2.3
	3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	250	655	406	143	69	48	2.6
	4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	210	663	514	100	31	53	2.6
	5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	131	499	665	168	59	49	2.3
	小計	1234	2989	2302	777	316	237	12.6
文化	6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	144	432	532	251	161	51	2.1
	7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	158	507	519	235	96	56	2.3
	8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	256	676	446	101	36	56	2.7
	9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	192	647	495	146	42	49	2.5
	10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	30	192	679	368	248	54	1.6
	小計	780	2454	2671	1101	583	266	11.2
仕事	11.安定した産業基盤が維持されている	70	363	730	249	102	57	2.0
	12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	31	170	862	305	144	59	1.8
	13.働く場所と機会が確保されている	126	445	612	227	103	58	2.2
	14.働きたいと思える魅力的な職場がある	47	175	747	381	165	56	1.7
	15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	93	439	613	243	129	54	2.1
	小計	367	1592	3564	1405	643	284	9.8
生活	16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	157	633	575	118	41	47	2.5
	17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	387	806	269	50	18	41	3.0
	18.住宅や公園などの生活環境が充実している	188	599	486	180	63	55	2.4
	19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	98	383	446	371	222	51	1.8
	20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	576	718	190	26	18	43	3.2
	小計	1406	3139	1966	745	362	237	12.9
教育	21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	256	720	427	78	37	53	2.7
	22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	221	674	507	79	31	59	2.6
	23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	83	378	778	196	69	67	2.1
	24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	42	265	796	294	109	65	1.9
	25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	219	670	481	106	35	60	2.6
	小計	821	2707	2989	753	281	304	11.9
	総計	4608	12881	13492	4781	2185	1328	58.4

- ・区分別では、「生活」の充足度が12.9ポイントで最も高く、「健康」が12.6ポイント、「教育」が11.9ポイント、「文化」が11.2ポイントと続いた。一方、「仕事」の充足度が最も低く、9.8ポイントであった。
- ・「健康」では、いずれの項目においても充足度が2ポイント台と全体的に高く、中でも「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」は2.8ポイントと特に高かった。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が2.7ポイントと、区分内で最も高くなった。一方、「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」は1.6ポイントと、全区分の中で最低となった。
- ・「仕事」では、「働く場所と機会が確保されている」が2.2ポイントと、区分内で最も高くなった。一方、「働きたいと思える魅力的な職場がある」は、1.7ポイントと低かった。
- ・「生活」では、「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が3.2ポイントと、昨年度に引き続き充足度全項目中で最も高かった。また、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」も3.0ポイントと高い結果になった。一方で、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」は1.8ポイントと低かった。
- ・「教育」では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が2.7ポイントと特に高かった。一方「社会人を対象者とした学びの機会が充実している」は1.9ポイントと充足度が低い。

※得点の算出方法

「充足されている」＝4点から「充足されていない」＝0点までの得点を付与し項目ごとに無回答を除く回答者数で加重平均し指標化。

<将来の重要度>

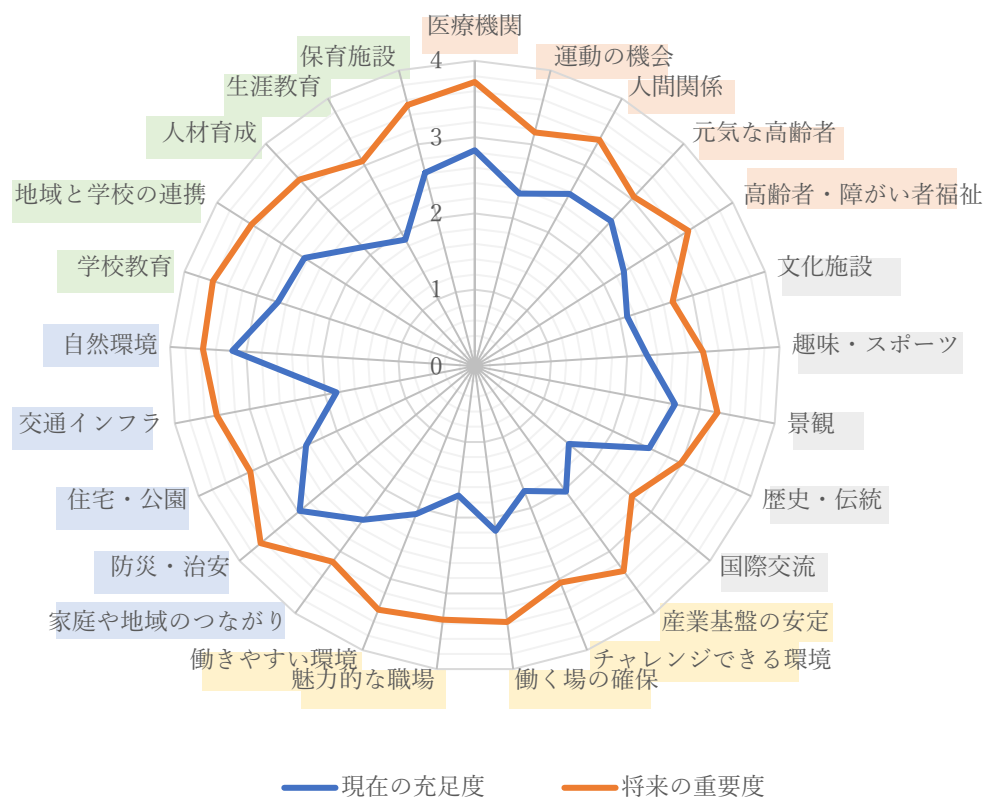
区分	項目	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答	得点
健康	1.医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	1158	287	47	4	6	69	3.7
	2.日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	545	676	233	22	9	86	3.2
	3.毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	743	587	136	10	6	89	3.4
	4.元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	522	597	296	38	28	90	3.0
	5.福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	720	548	193	13	13	84	3.3
	小計	3688	2695	905	87	62	418	16.6
文化	6.美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	299	619	437	82	35	99	2.7
	7.趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	409	711	297	39	13	102	3.0
	8.美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	603	667	173	24	11	93	3.2
	9.伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	433	678	299	45	23	93	3.0
	10.国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	275	615	463	78	47	93	2.7
	小計	2019	3290	1669	268	129	480	14.6
仕事	11.安定した産業基盤が維持されている	698	567	194	8	7	97	3.3
	12.起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	477	626	344	15	10	99	3.0
	13.働く場所と機会が確保されている	762	535	158	11	8	97	3.4
	14.働きたいと思える魅力的な職場がある	735	541	187	8	7	93	3.3
	15.仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	831	471	158	10	6	95	3.4
	小計	3503	2740	1041	52	38	481	16.4
生活	16.家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	554	655	225	29	9	99	3.2
	17.災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	1036	370	65	5	4	91	3.6
	18.住宅や公園などの生活環境が充実している	601	663	187	13	6	101	3.3
	19.道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	803	545	107	12	7	97	3.4
	20.空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	940	458	70	4	7	92	3.6
	小計	3934	2691	654	63	33	480	17.1
教育	21.学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	990	390	85	3	2	101	3.6
	22.地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	833	494	128	8	3	105	3.5
	23.高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	728	545	178	11	4	105	3.4
	24.社会人を対象者とした学びの機会が充実している	474	645	308	27	8	109	3.1
	25.保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	918	426	114	5	5	103	3.5
	小計	3943	2500	813	54	22	523	17.1
	総計	17087	13916	5082	524	284	2382	81.8

- ・区分別では、「生活」の重要度が17.1ポイントで最も高く、「教育」が17.1ポイント、「健康」が16.6ポイント、「仕事」が16.4ポイントと続いた。最もポイントが低かったのは「文化」で、14.6ポイントであった。
- ・「健康」では、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が3.7ポイントと全25項目の中でも最も高かった。
- ・「文化」では、「美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている」が3.2ポイントと最も高い。一方、「美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる」と「国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある」においては、全25項目の中でも最も低い2.7ポイントであった。
- ・「仕事」では、「働く場所と機会が確保されている」、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」がいずれも高く、3.4ポイントであった。
- ・「生活」では、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる」と「空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている」が3.6ポイントと高かった。
- ・「教育」では、「学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる」が3.6ポイントと高くなった。

<現在の充足度と将来の重要度の差>

- ・区分別では、「仕事」の差分が最も大きく、全項目において1.0ポイント差以上、合計では現在の充足度から6.6ポイントの差が生じている。最も差分が小さかったのは「文化」で、合計で3.4ポイント差であった。
- ・全25項目中最も差分が大きくなったのは、「仕事」の「働きたいと思える魅力的な職場がある」と、「生活」の「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」で、1.6ポイント差であった。
- ・「仕事」以外で差分が大きかった項目として、「教育」の「高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行なわれている」で、1.3ポイント差であった。

現在の充足度と将来の重要度



問 12 あなたは、問 11 の 25 の項目について将来不安を感じていることはありますか。当てはまるもの全て選択し、以下に番号を記入してください。

【健康】

1. 医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる	377
2. 日常的に運動する機会があり、身体の健康を保つことができる	101
3. 毎日の生活や人間関係に悩みが少なく、健やかに生活を送ることができる	209
4. 元気な高齢者が多く、地域や職場において活躍している	150
5. 福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている	356

【文化】

6. 美術館や博物館に気軽に訪れ、芸術に親しむことができる	60
7. 趣味やスポーツなど、余暇時間を楽しむことができる	96
8. 美しいまちなみや豊かな里山里海湖が守られている	157
9. 伝統工芸や建造物、祭りなど古くからの歴史が引き継がれている	120
10. 国際交流や外国人観光客の訪問など、海外とのつながりがある	85

【仕事】

11. 安定した産業基盤が維持されている	292
12. 起業など新しい事業にチャレンジできる環境が整っている	135
13. 働く場所と機会が確保されている	324
14. 働きたいと思える魅力的な職場がある	366
15. 仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている	308

【生活】

16. 家族や地域コミュニティなど、人のつながりが大切にされている	162
17. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる	320
18. 住宅や公園などの生活環境が充実している	102
19. 道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている	392
20. 空気や水がきれいであり、緑豊かな自然環境が守られている	172

【教育】

21. 学校教育が充実し、子どもたちが伸び伸び育つことができる	225
22. 地域と学校が協力し、子どもたちを健やかに育てている	144
23. 高校や大学等において、地域・社会を担う人材の育成が行われている	194
24. 社会人を対象者とした学びの機会が充実している	138
25. 保育施設やサービスなどが充実し、安心して子育てをすることができる	227

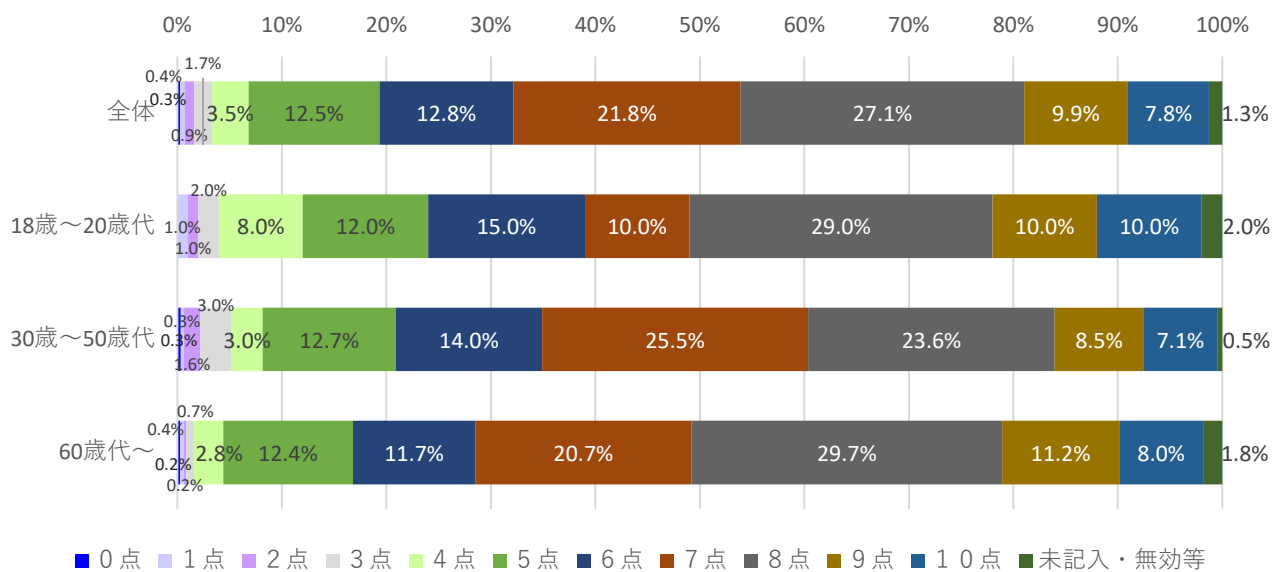
		全体	18歳～20歳代	30歳～50歳代	60歳代～
健康	医療機関	24.0%	20.0%	25.3%	23.5%
	運動の機会	6.4%	11.0%	8.3%	4.5%
	人間関係	13.3%	19.0%	17.3%	9.6%
	元気な高齢者	9.5%	9.0%	10.7%	8.9%
	高齢者・障がい者福祉	22.7%	19.0%	21.7%	24.1%
文化	文化施設	3.8%	5.0%	3.3%	4.1%
	趣味・スポーツ	6.1%	11.0%	8.3%	3.9%
	景観	10.0%	9.0%	9.3%	10.7%
	歴史・伝統	7.6%	7.0%	6.1%	8.9%
	国際交流	5.4%	5.0%	5.3%	5.6%
仕事	産業基盤の安定	18.6%	20.0%	19.3%	18.0%
	チャレンジできる環境	8.6%	9.0%	8.5%	8.5%
	働く場の確保	20.6%	26.0%	25.2%	16.6%
	魅力的な職場	23.3%	31.0%	30.8%	16.6%
	働きやすい環境	19.6%	32.0%	24.5%	14.6%
生活	家庭や地域のつながり	10.3%	6.0%	8.8%	12.1%
	防災・治安	20.4%	23.0%	23.4%	17.9%
	住宅・公園	6.5%	10.0%	8.2%	4.9%
	交通インフラ	25.0%	29.0%	26.6%	23.4%
	自然環境	10.9%	12.0%	10.8%	11.1%
教育	学校教育	14.3%	20.0%	17.5%	11.3%
	地域と学校の連携	9.2%	13.0%	10.4%	7.9%
	人材育成	12.3%	14.0%	11.6%	12.9%
	生涯教育	8.8%	9.0%	7.4%	10.0%
	保育施設	14.4%	23.0%	15.4%	12.9%

- ・全体では、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が25.0%と最も高い。
- ・年代別でみると、18歳～20歳代では、「仕事と家庭の両立など働きやすい環境が整っている」が32.0%と最も高く、次いで「働きたいと思える魅力的な職場がある」で31.0%、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が29.0%となっている。
- 30歳～50歳代では、「働きたいと思える魅力的な職場がある」が30.8%と最も高く、次いで「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が26.6%、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が25.3%になっている。
- 60歳以上では、「福祉が充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている」が24.1%と最も高く、「医療機関が整備され、必要な診療や治療を受けることができる」が23.5%、「道路・鉄道などの交通・生活基盤が整備されている」が23.4%と続いている。

問 13 現在、あなたはどの程度幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

0点 (4) 1点 (7) 2点 (14) 3点 (27)
 4点 (55) 5点 (197) 6点 (201) 7点 (342)
 8点 (426) 9点 (156) 10点 (122)

- ・全体では、「8点」が27.1%で最も高く、次いで「7点」が21.8%で高かった。「7点」以上が全体の66.6%を占めている。
- ・年代別でみると、「7点」以上の割合は、18歳～20歳代が59.0%、30歳～50歳代が64.7%、60歳以上では69.6%と年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられた。

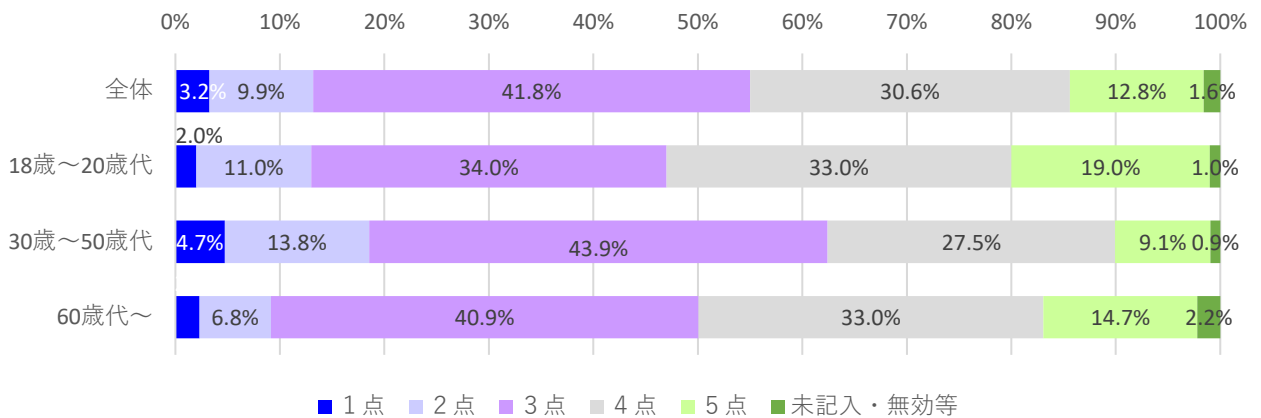


問 14 「全くそう思わない」を1点、「強くそう思う」を5点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

(1) あなたの住んでいる地域に自分の居場所があると感じますか。あてはまる点数のところに1箇所に○をつけてください。

1点 (51) 2点 (156) 3点 (657) 4点 (481) 5点 (201)

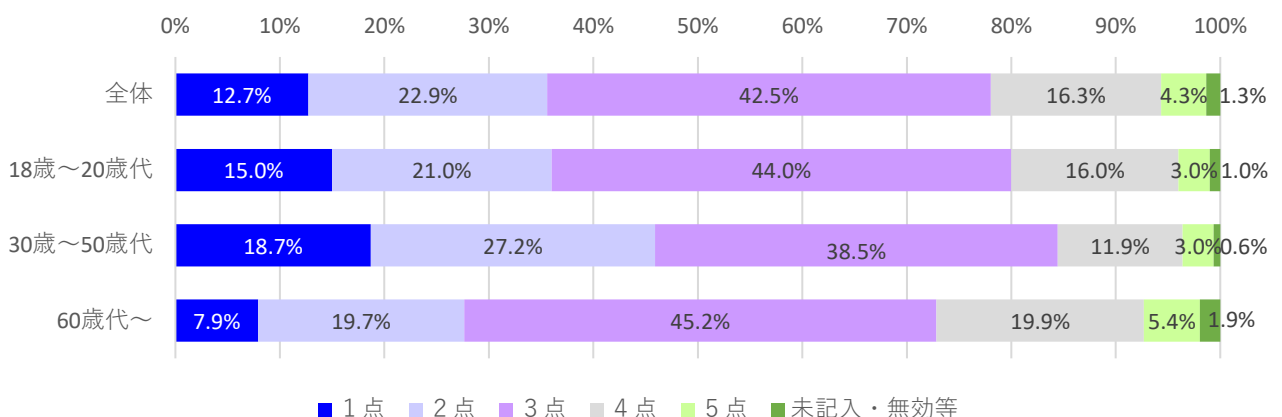
- ・全体では、「3点」が41.8%で最も高く、次いで「4点」が30.6%で高かった。
- ・年代別で見ると、18歳～20歳代の「5点」が19.0%で30歳～50歳代より9.9%高くなった。



(2) あなたの住んでいる地域に自己表現ができたり、活躍できたりする場があると感じますか。あてはまる点数のところに1箇所に○をつけてください。

1点 (200) 2点 (359) 3点 (667) 4点 (256) 5点 (68)

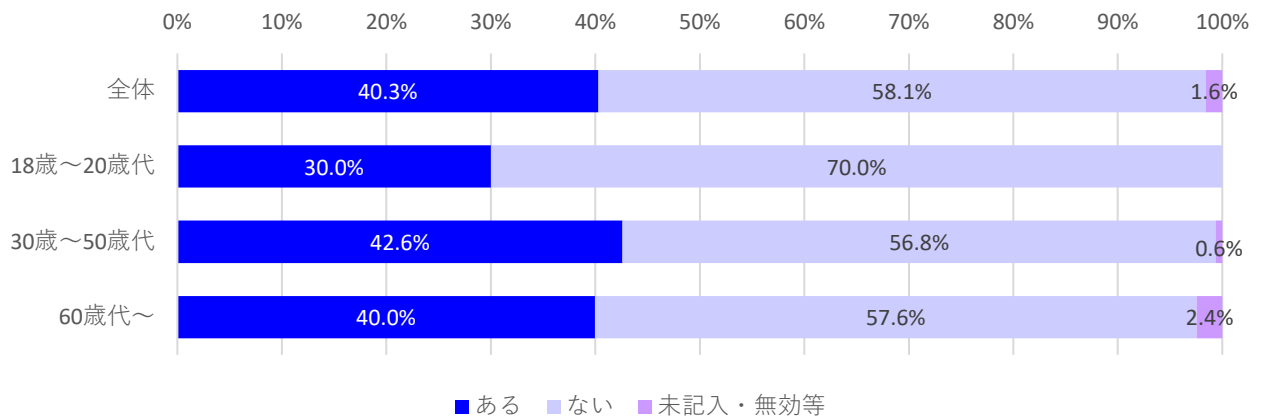
- ・全体では、「3点」が42.5%で最も高く、次いで「2点」が22.9%で高かった。
- ・年代別で見ると、60歳以上の「5点」が5.4%で他の年代より2.4%高くなった。



問 15 あなたは過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがありますか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. ある (633)
2. ない (913)

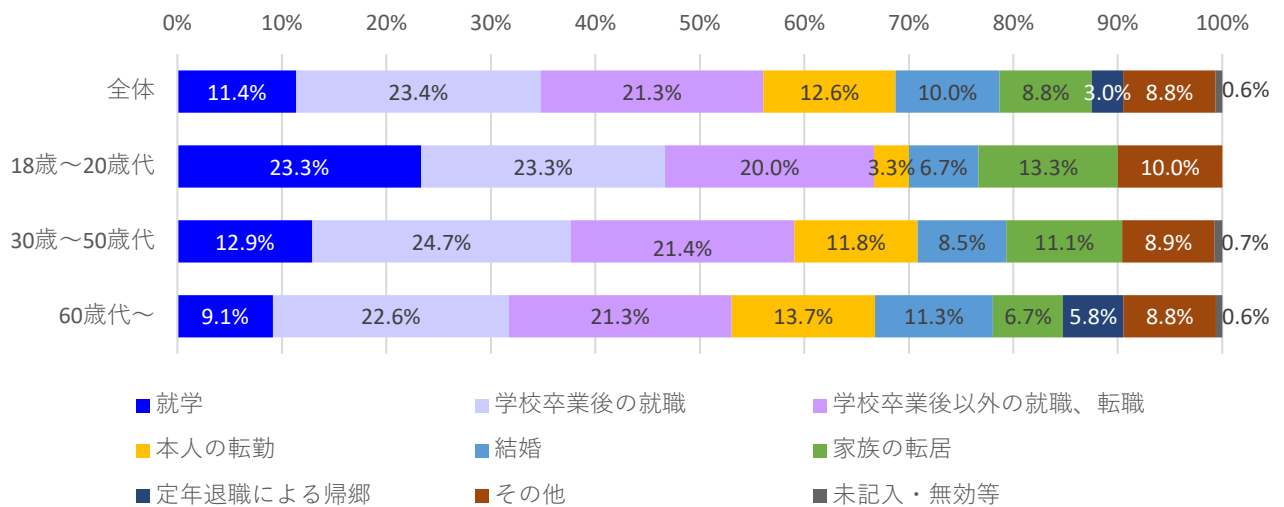
- ・「過去に1年以上、福井県以外の地域で暮らしたことがある」の割合は、全体では40.3%となった。
- ・年代別で見ると、30歳～50歳代が42.6%と最も高く、次いで60歳以上が40.0%であった。



問 16 問 15 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域から福井県に戻る（来る）ことになった理由について、当てはまるものを 1つ 選んで○をつけてください。複数ある場合には、初めて戻る（来る）ことになった時のことについてお答えください。

1. 就学（専門学校、大学、大学院）（72）
2. 学校（高校、専門学校、大学、大学院）卒業後の就職（148）
3. 学校卒業後以外の就職、転職（135）
4. 本人の転勤（80）
5. 結婚（63）
6. 家族の転居（56）
7. 定年退職による帰郷（19）
8. その他（56）

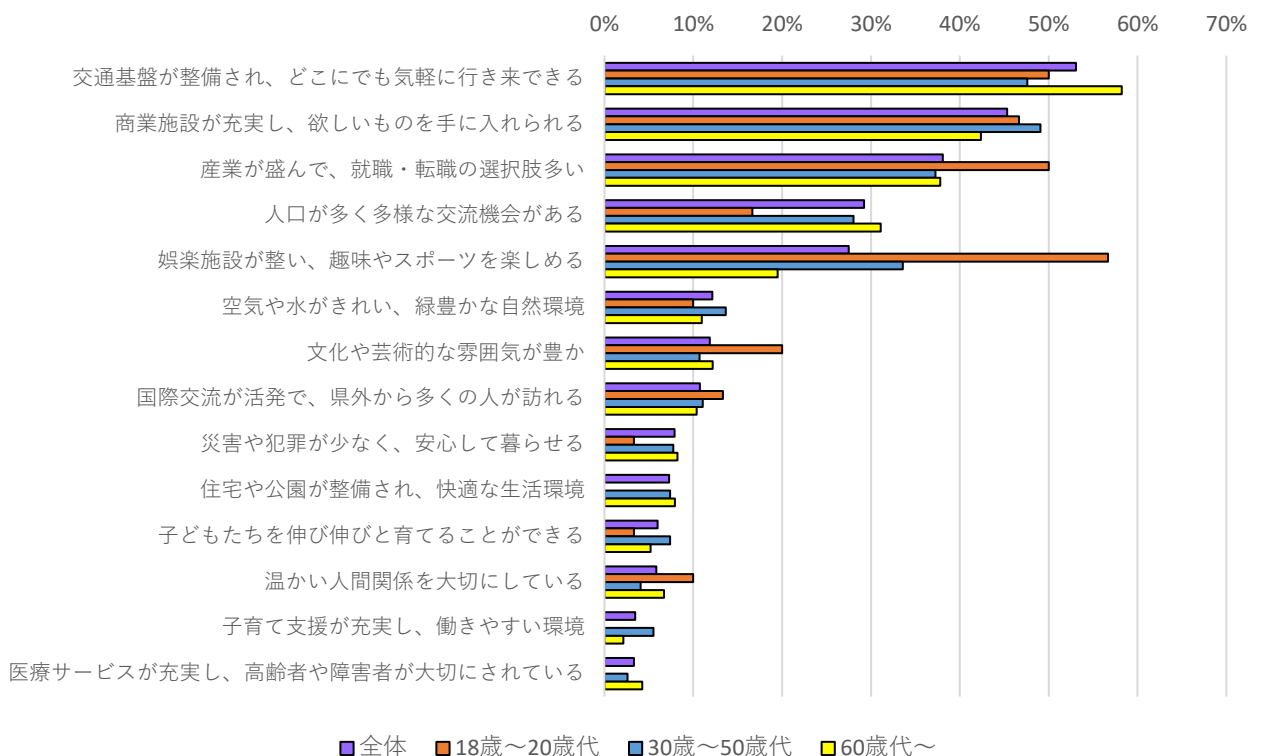
- ・全体では、「学校卒業後の就職」が 23.4% と最も高く、次いで「学校卒業後以外の就職、転職」が 21.3% となっている。
- ・年代別でみると、18 歳～20 歳代では、「就学」と「学校卒業後の就職」がともに 23.3% となっている。



問 17 問 15 で 1 と答えた方のみお答えください。福井県以外の地域で暮らしてみても、福井県よりも良かったと思うことは何ですか。最も当てはまるものを3つ選んで○をつけてください。

1. 空気や水がきれいで、緑豊かな自然環境が守られている (77)
2. 地域コミュニティの結びつきが強く、温かい人間関係を大切にしている (37)
3. 様々な分野の産業が盛んであり、希望する就職・転職の選択肢が多い (241)
4. 人口が多く、職場や地域以外の人との多様な交流の機会に恵まれている (185)
5. 国際交流や地域間交流が活発で、県外から多くの人を訪れている (68)
6. 子育て支援が充実し、働きやすい環境が整っている (22)
7. 学校の教育や施設等が充実し、子どもたちを伸び伸びと育てることができる (38)
8. 福祉や医療サービスが充実し、高齢者や障がいを持つ人が大切にされている (21)
9. 伝統芸能や創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かである (75)
10. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる (174)
11. 商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる (287)
12. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らすことができる (46)
13. 道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる (336)
14. 災害や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる (50)

- ・全体では、「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が 53.1%で最も高く、次いで「商業施設等が充実し、欲しいものをいつでも手に入れることができる」が 45.3%で高かった。
- ・年代別みると、18歳～20歳代の「娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができる」が 56.7%で高く、60歳以上では「道路や鉄道などの交通基盤が整備され、どこにでも気軽に行き来ができる」が 58.2%で高かった。

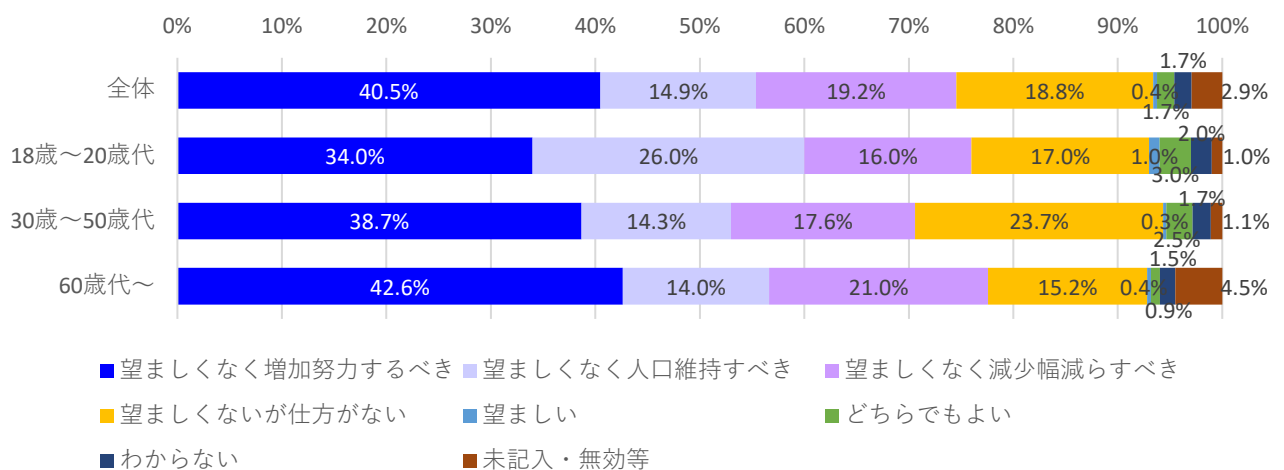


問 18 福井県の人口は 2000 年の 82.9 万人をピークに減少傾向にあり、2020 年（国勢調査）の人口は 76.7 万人となっています。現状の合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子どもの平均数）の水準が続けば、子どもの数が少なくなり（少子化）、国の推計では、2040 年には 64.7 万人まで減少する見通しとなっています。

あなたは、福井県の人口がこのような急速に減少していくことについてどう思いますか。最も当てはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

1. 人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき（636）
2. 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持すべき（234）
3. 人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき（301）
4. 人口減少は望ましくないが、仕方がない（296）
5. 人口減少は望ましい（6）
6. 人口が減少してもしなくてもどちらでもよい（26）
7. わからない（26）

- ・全体では、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が 40.5%で最も高く、次いで「人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき」が 19.2%で高かった。
- ・年代別で見ると、すべての年代において「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が最も高く、特に 60 歳以上の「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が 42.6%で高かった。

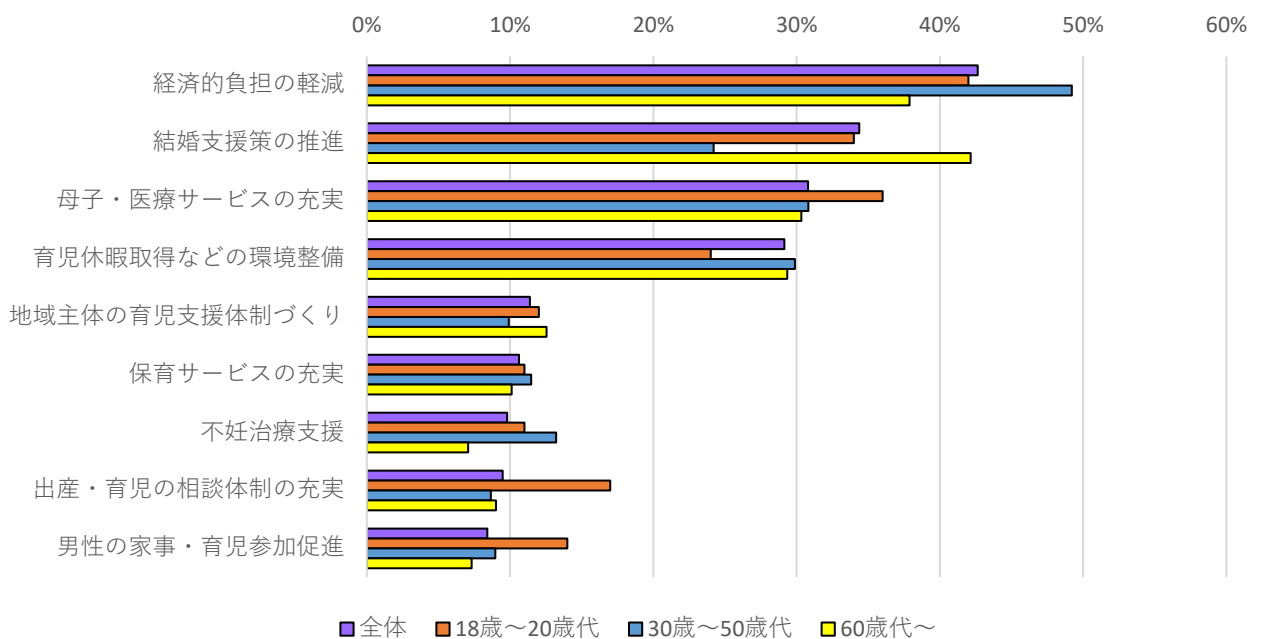


問 19 福井県の人口減少対策（主に自然減※1）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

1. 若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること（540）
2. 気軽に出産・育児の相談ができる体制を充実すること（149）
3. 安心して出産・子育てができる母子・医療サービスを充実すること（484）
4. 不妊治療に対する支援を充実すること（154）
5. 企業における産前・産後休暇や育児休業が取得しやすい職場環境の整備を支援すること（458）
6. 保育所やこども園の保育サービスを充実すること（167）
7. 育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと（670）
8. 男性の家事・育児への参加を促進すること（132）
9. 家事代行サービスや、ベビーシッターなど家事・育児の負担を軽減するための支援を行うこと（98）
10. 地域（自治体）主体で、育児支援（未就学児託児・放課後見守り等）を行なう体制づくり（179）

※1 自然減：出生と死亡の差がマイナスとなること。

- ・全体では、「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」が42.6%で最も高く、次いで「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」が34.4%と高かった。
- ・年代別にみると、18歳～20歳代および30歳～50歳代の「育児や教育にかかる経済的負担を軽減するための支援を行うこと」が40%を超える回答であった。一方で、60歳以上では、「若者の出会いの場の提供などの結婚支援策を推進すること」が最も高く、42.1%であった。

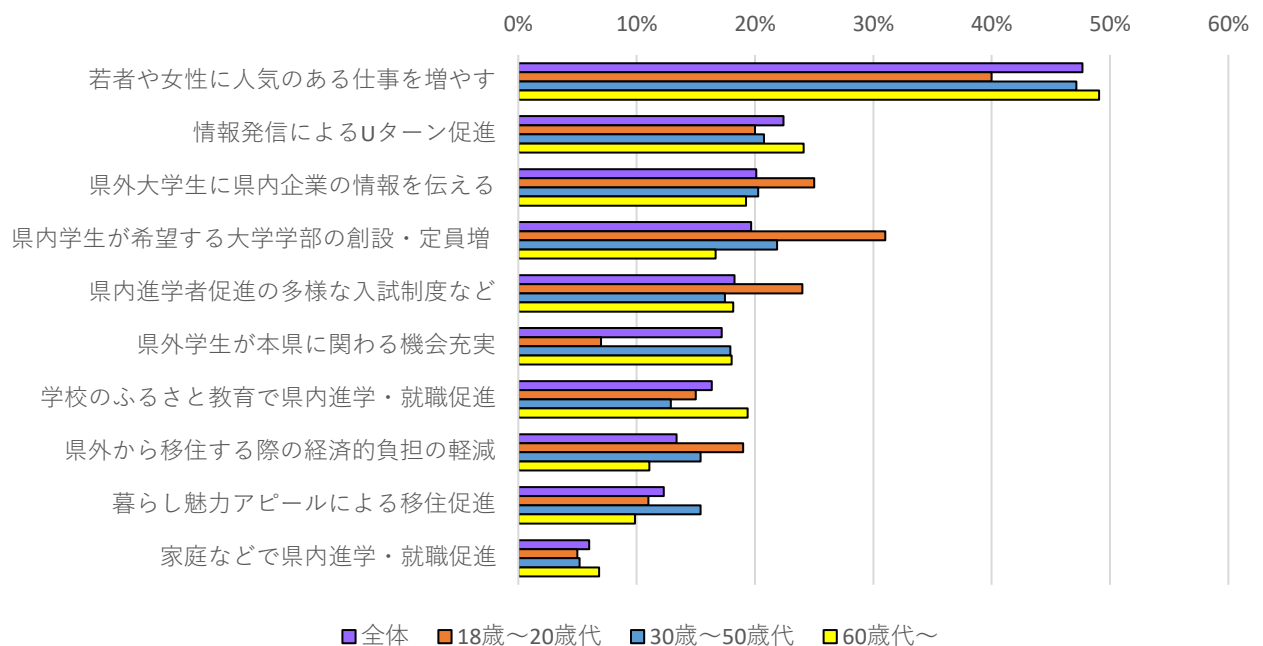


問 20 福井県の人口減少対策（主に社会減※2）に関して、今後、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまるものを2つ選んで○をつけてください。

1. 学校でのふるさと教育を充実して県内での進学・就職を促すこと（257）
2. 家族などが子どもに対して県内での進学・就職を促すこと（94）
3. 県内学生が希望する大学学部の創設・定員増（309）
4. 県内高校から県内大学への進学者数を増やすために多様な入試制度を設けたり、高校生の段階で県内大学の学びに触れる機会を増やすこと（287）
5. 県外大学との連携を強化し、県内企業の情報を学生に直接伝えるなどの仕組みを整備すること（316）
6. 県外の学生や若者が本県に滞在し地域課題の解決に取り組むプロジェクトなど、本県に深く関わる機会を充実すること（270）
7. 県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること（352）
8. 三大都市圏などで福井の暮らしの魅力をアピールして移住を促進すること（193）
9. 企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと（749）
10. 県外から県内に移住する際の経済的負担の軽減（210）

※2 社会減：転出による人口の減少のこと。

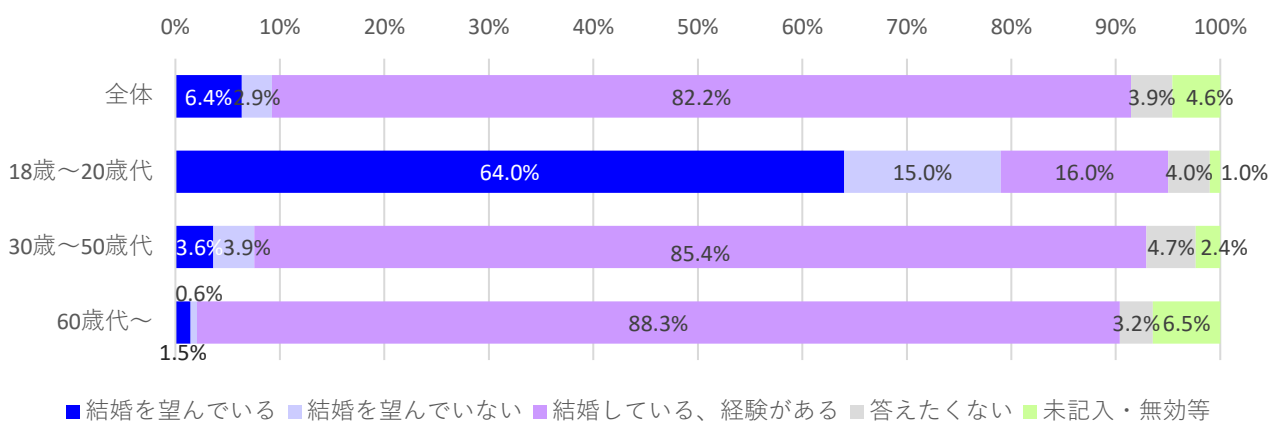
- ・全体では、「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」が47.7%で最も高く、次いで「県外に住む本県出身者に福井の情報を定期的に発信することにより、本県へのUターンを促進すること」が22.4%で高かった。
- ・年代別に見ると、60歳以上の「企業誘致などにより企画開発や研究部門等の若者や女性に人気のある仕事を増やすこと」が49.1%で高かった。



問 21 あなたの結婚に対するお考え、実態についてお聞きします。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。また、1に○をつけられた方は結婚希望年齢（何歳ぐらいのときに結婚したいと思うか）を、3に○をつけられた方は初婚年齢をご記入ください。

1. 結婚を望んでいる (100)
2. 結婚を望んでいない (45)
3. 結婚している、経験がある (1,292)
4. 答えたくない (62)

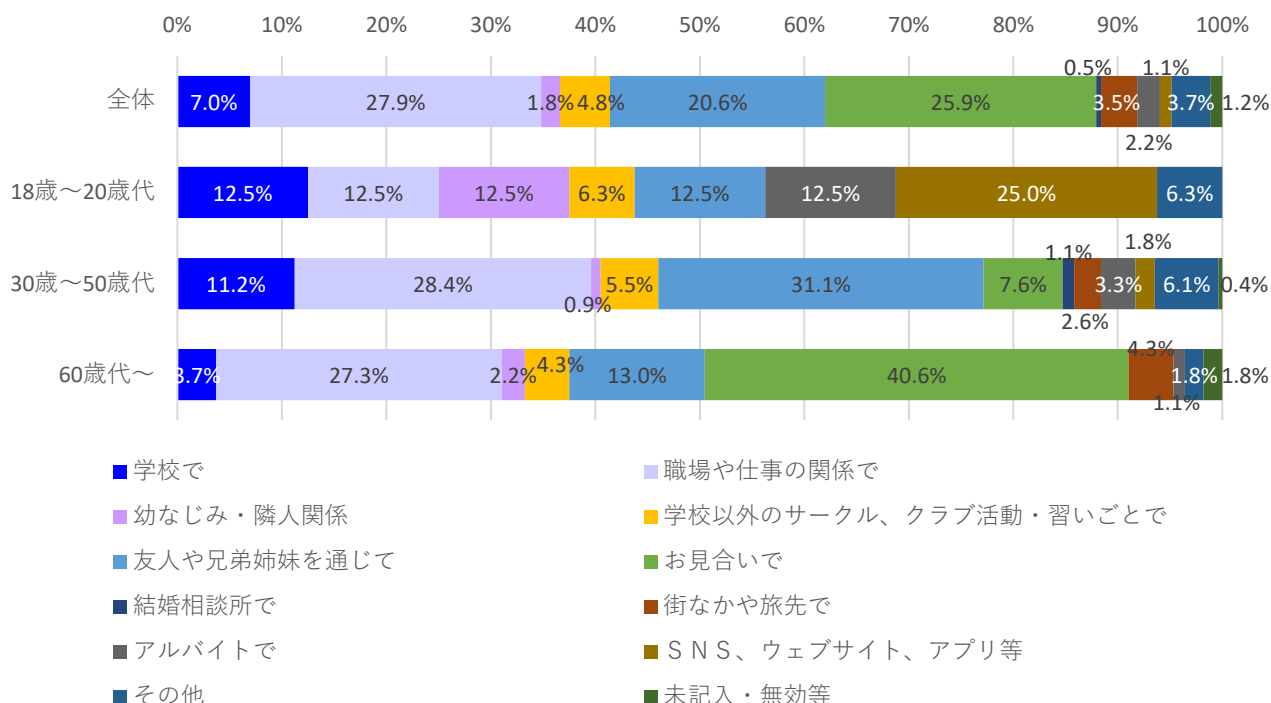
- ・ 全体では、「結婚している、経験がある」が82.2%で最も高かった。
- ・ 年代別でみると、18歳～20歳代の「結婚を望んでいる」が64.0%であった。



問 22 問 21 で3と答えた方のみお答えください。結婚相手の方と、どのようなきっかけで知り合いになりましたか。当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 学校で (90)
2. 職場や仕事の関係で (360)
3. 幼なじみ・隣人関係 (23)
4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで (62)
5. 友人や兄弟姉妹を通じて (266)
6. お見合いで (親せき・上役などの紹介も含む) (335)
7. 結婚相談所で (オンラインを含む) (6)
8. 街なかや旅先で (45)
9. アルバイトで (28)
10. (1～9以外で) SNS、ウェブサイト、アプリ等によるやり取りがきっかけで (14)
11. その他 (48)

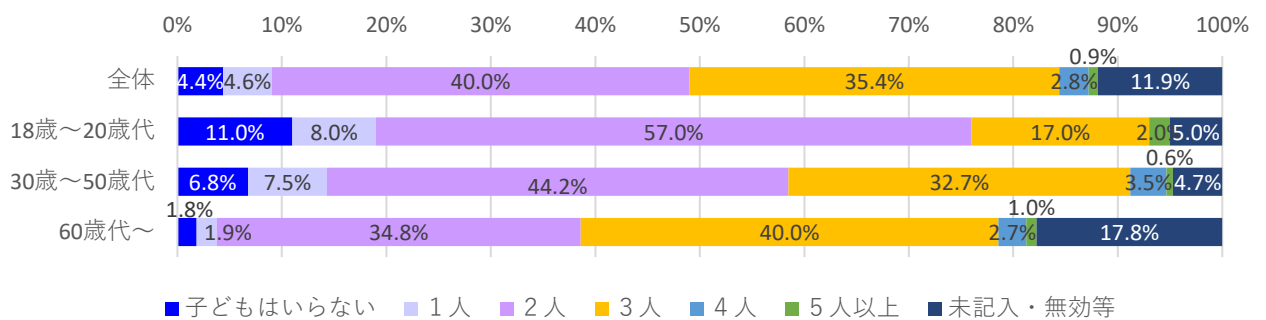
- ・全体では、「職場や仕事の関係で」が27.9%で最も高く、次いで「お見合いで (親せき・上役などの紹介も含む)」が25.9%で高かった。
- ・年代別でみると、18歳～20歳代では「SNS、ウェブサイト、アプリ等によるやり取りがきっかけで」が25.0%と4分の1を占めた。30歳代～50歳代では「友人や兄弟姉妹を通じて」が31.1%で高く、60歳以上では「お見合いで (親せき・上役などの紹介も含む)」が40.6%で高かった。



問 23 子どもについての希望をお聞きます。あなたは、生涯で子どもは何人くらいほしいですか。

1. 子どもはいない (69)
2. 1人 (73)
3. 2人 (628)
4. 3人 (556)
5. 4人 (44)
6. 5人以上 (14)

- ・全体では、「2人」が40.0%で最も高く、次いで「3人」が35.4%が高かった。
- ・年代別でみると、18歳～20歳代の「2人」が57.0%で高く、30歳～50歳代より12.8%高かった。

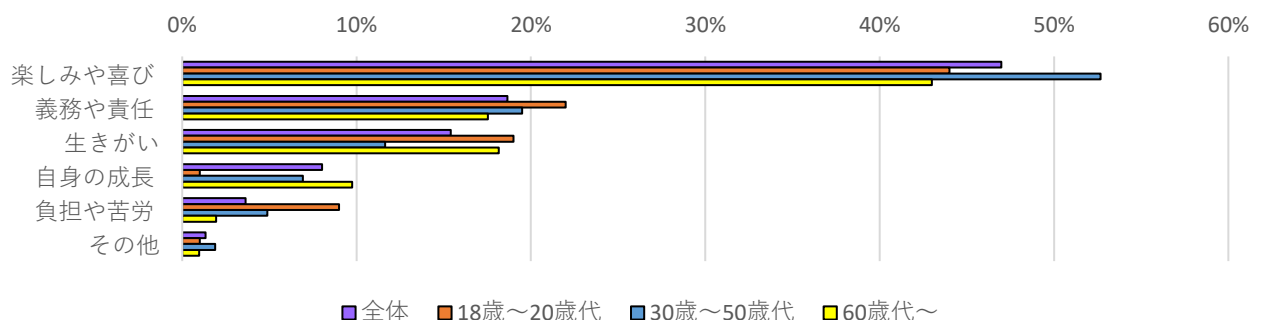


問 24 子育てについてお聞きます。

あなたは、子育てについてどのようなイメージを持っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 生きがい (242)
2. 楽しみや喜び (738)
3. 義務や責任 (293)
4. 負担や苦勞 (57)
5. 自身の成長 (126)
6. その他 (21)

- ・全体では、「楽しみや喜び」が47.0%で最も高く、次いで「義務や責任」が18.7%であった。
- ・年代別でみると、すべての年代において「楽しみや喜び」の割合が最も高く、特に30歳～50歳代の「楽しみや喜び」が52.7%と高かった。

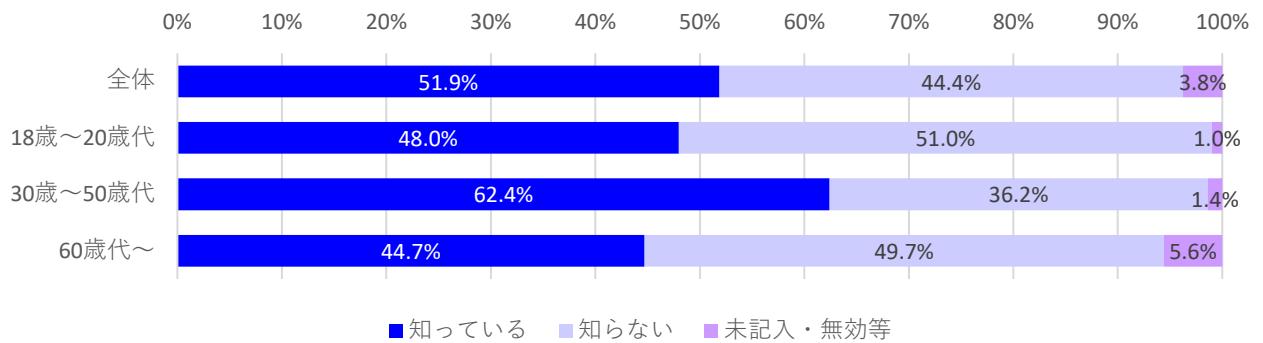


問 25 福井県では、「ふく育県～日本一幸福な子育て県～」を目指し、保育料無償化をはじめとした経済的支援や、子育てにおける負担感を減らす施策など、子育て世帯へのよりきめ細やかな支援を市町とともに進めています。

以下の支援について、知っている場合は1、知らない場合は2に○をつけてください。

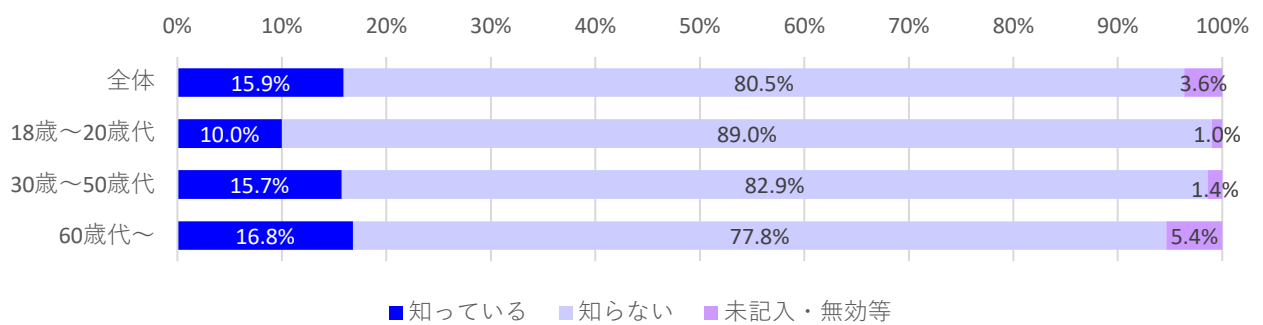
1. 保育料 無償化

- ・全体では、「知っている」が51.9%、「知らない」が44.4%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代で「知っている」が62.4%と最も高かった。



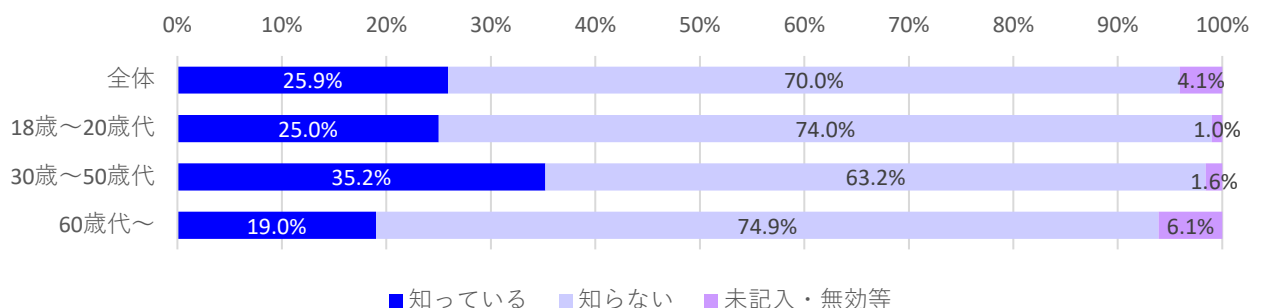
2. 在宅育児 応援手当

- ・全体では、「知らない」が80.5%、「知っている」が15.9%となった。
- ・年代別では、60歳以上で「知っている」が16.8%と他の世代よりも高かった。



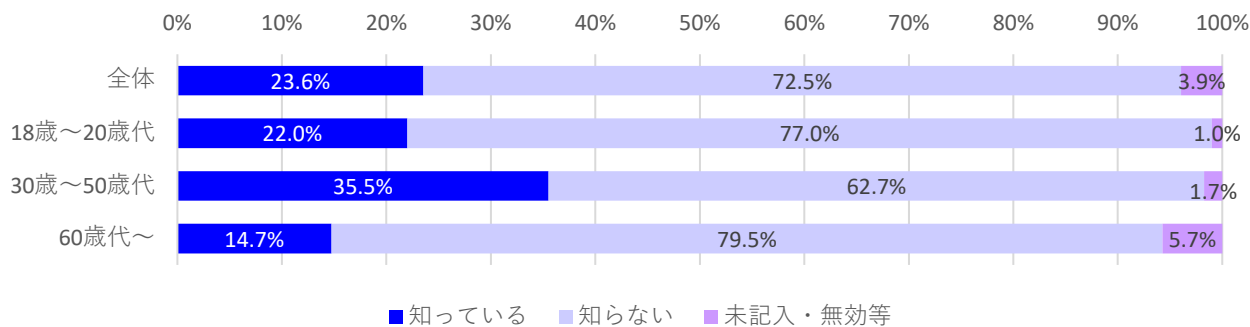
3. 一時預り事業

- ・全体では、「知らない」が70.0%、「知っている」が25.9%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代で「知っている」が35.2%と最も高かった。



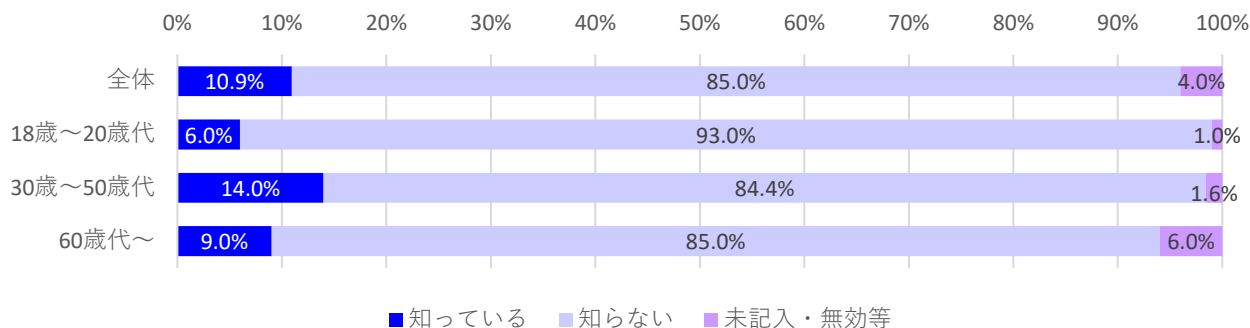
4. 病児デイケア促進事業

- ・全体では、「知らない」が72.5%、「知っている」が23.6%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代で「知っている」が35.5%と最も高かった。



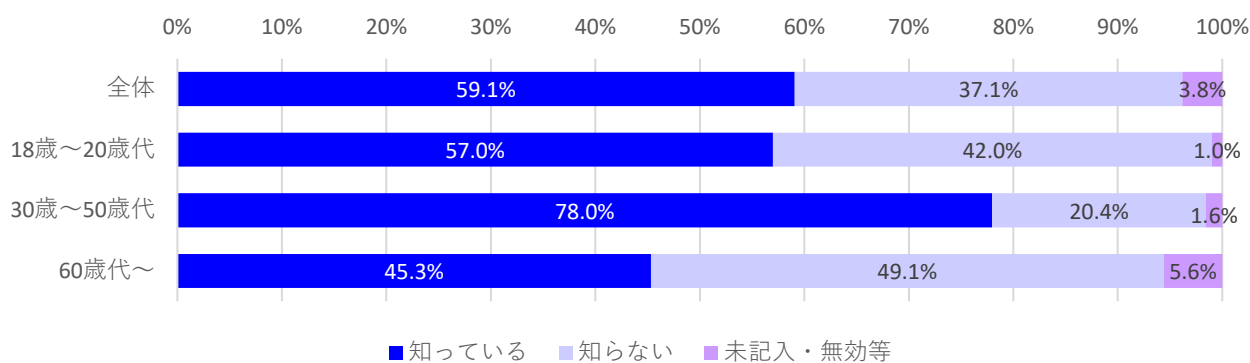
5. すみずみ子育てサポート事業

- ・全体では、「知らない」が85.0%、「知っている」が10.9%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代で「知っている」が14.0%と他の世代よりも高かった。



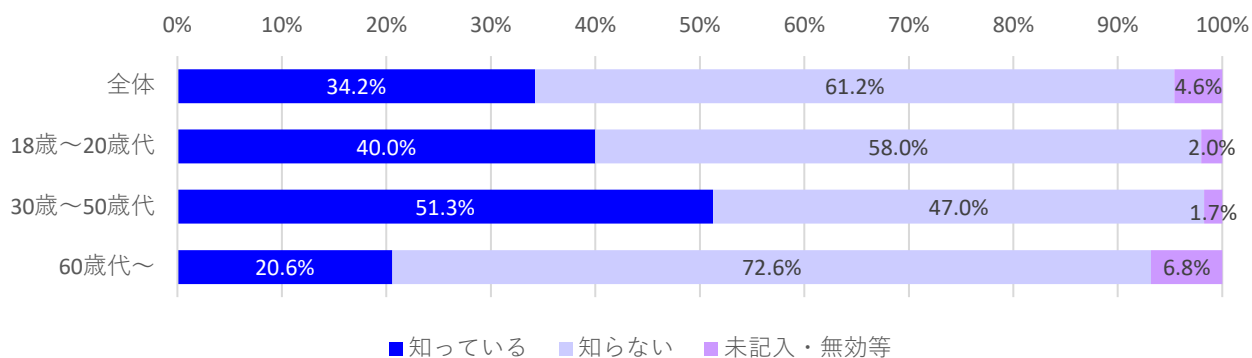
6. 子ども医療費助成事業

- ・全体では、「知っている」が59.1%、「知らない」が37.1%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代で「知っている」が78.0%と最も高かった。



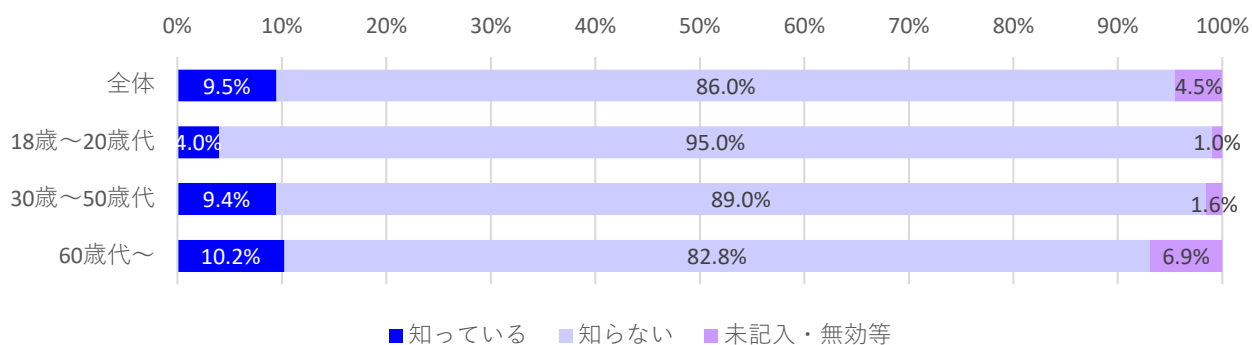
7. 「ふく育」 応援事業

- ・全体では、「知らない」が61.2%、「知っている」が34.2%となった。
- ・年代別では、30歳～50歳代で「知っている」が51.3%と最も高かった。



8. パパ応援センター事業

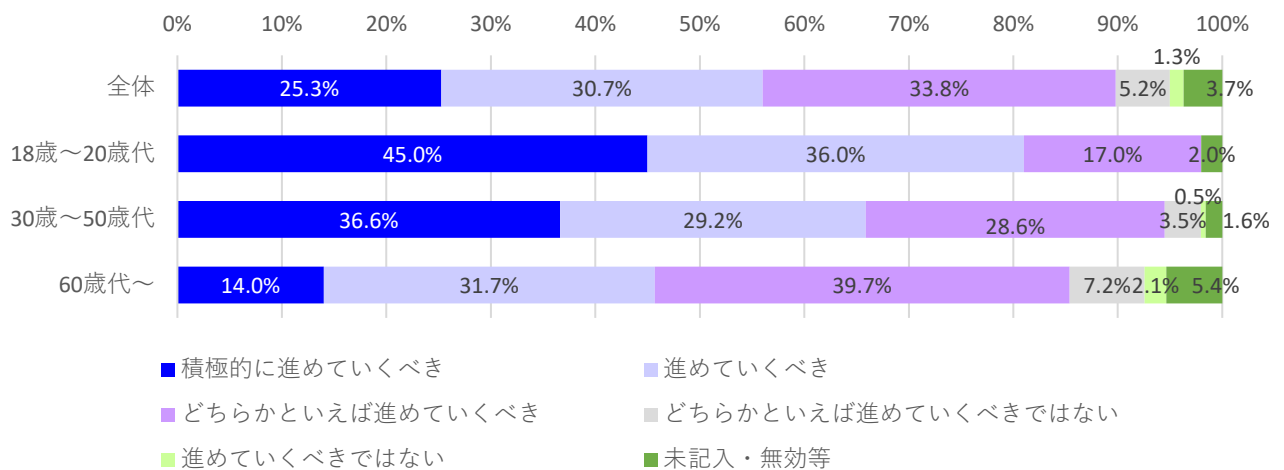
- ・全体では、「知らない」が86.0%、「知っている」が9.5%となった。
- ・年代別では、60歳以上で「知っている」が10.2%と他の世代よりも高かった。



問 26 生活の利便性を向上させるデジタル技術の普及・活用が進んでいます。あなたは、社会のデジタル化を進めていくべきだと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 積極的に進めていくべきだと思う (397)
2. 進めていくべきだと思う (483)
3. どちらかといえば進めていくべきだと思う (531)
4. どちらかといえば進めていくべきではないと思う (81)
5. 進めていくべきではないと思う (21)

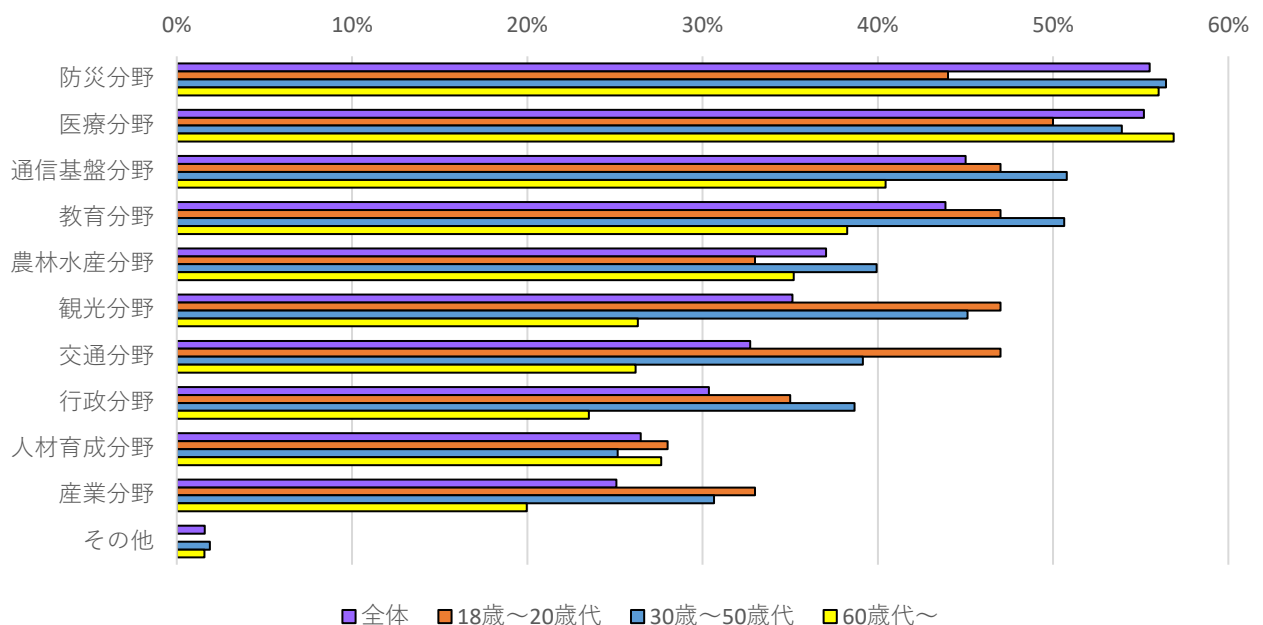
- ・全体では、「積極的に進めていくべきだと思う」の割合が 25.3%、「進めていくべきだと思う」が 30.7%、「どちらかといえば進めていくべきだと思う」が 33.8%で、回答者の 89.8%がデジタル化を進めていった方が良いと考えている。
- ・年代別で見ると、18歳～20歳代では、デジタル化進めていった方が良いと考えている割合が 98.0%となっており、若い世代ほど高い傾向にある。



問 27 デジタル技術を用いて県民の生活をより良いものにするため、あなたはどの分野にデジタル技術が活用されていくべきだと思いますか。当てはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

- 1. 通信基盤分野 (707)
- 2. 教育分野 (689)
- 3. 農林水産分野 (582)
- 4. 産業分野 (394)
- 5. 人材育成分野 (416)
- 6. 交通分野 (514)
- 7. 観光分野 (552)
- 8. 医療分野 (867)
- 9. 防災分野 (872)
- 10. 行政分野 (477)
- 11. その他 (25)

- ・全体では、「防災分野」が55.5%で最も高く、次いで「医療分野」が55.2%で高かった。
- ・年代別で見ると、18歳～20歳代では「医療分野」が50.0%で高く、30歳代～50歳代では「防災分野」が56.4%で高く、60歳以上では「医療分野」が56.9%で高かった。
- ・「観光分野」、「交通分野」では18歳～20歳代の割合が高くなっている。一方で、「行政分野」では30歳～50歳代の割合が高くなっている。



問 28 その他、ご意見があれば自由に記載してください。(略)